

Amacusaと九州西岸のNAMBAN

世界遺産登録3周年記念
天草コレジヨ館企画展

開催

本年2月、河浦町の信福寺前から遺跡調査により出土した中国製の壺の破片（約3cm）は、天草地域で「南蛮貿易」があった可能性を示す資料として注目を集めました。

本展では、天草や長崎、佐世保、島原、熊本などキリシタンにゆかりがある地域の遺跡から出土した南蛮貿易に関する資料を集め、考古学の視点から南蛮貿易とキリスト教布教の関係を4部構成で紹介いたします。

令和4年
と き 12月3日(金)～2月28日(月)
※木曜、12月30日(土)～1月1日(土)休館

ところ 天草コレジヨ館 企画展示ホール(河浦町)

入館料 大人200円 / 高校生150円 / 小中学生100円
※市内の小中高の学生は無料。20人以上は2割引



▲日本切支丹迫害史
(日本イエズス会の歴史を記録した書物)



◀山見沖海底遺跡出土
タイ産四耳壺
(長崎県小値賀町
教育委員会蔵)



◀矢部城跡出土光背十字文軒丸瓦
(山都町教育委員会蔵)

関連イベント① **ギャラリートーク** 展示担当の学芸員が展示物を解説します。

と き：12月19日(日)、令和4年2月12日(土) ※いずれも午前10時～、午後2時～
定 員：各回10人(先着順) (1時間程度)

関連イベント② **歴史トークショー「天草から小西行長を考える」**

1587年から天草を治めていたキリシタン大名「小西行長」研究の第一人者である鳥津亮二さんの講演会。古楽器演奏グループ「コレジヨの仲間」のコンサートも開催されます。

と き：令和4年1月30日(日) 講師：鳥津亮二さん(八代市立博物館 未来の森ミュージアム学芸員)
午前10時30分～午後3時
ところ：一町田地区コミュニティセンター(河浦町) 定 員：80人(先着順)

▶申し込み方法(関連イベント①、②共通)

12月3日から開催日の前日までに電話、またはFAX(イベント名・住所・氏名・電話番号を記載)で申し込んでください。

☎天草コレジヨ館 ☎76-0388 / FAX 76-0080 ☎文化課 ☎32-6784

exploration of history

Vol. 009 市指定史跡 荒尾岳遠見番所跡(天草町高浜) 昭和49年2月27日指定



江戸時代、外国との交流窓口といえば長崎の出島。主にオランダと中国が貿易相手でしたが、ほかの外国船が来ないように沿岸警備などのために設置されたのが「遠見番所」です。狼煙台が併設され、異常時には狼煙を上げて知らせました。

「荒尾岳遠見番所」は密貿易の取り締まりを嚴重にするため、苓北町富岡・大江・魚貫崎に次いで、1660年に代官・鈴木重辰が増設しました。80年ほど使われた後に廃止されましたが、現在も狼煙台の跡が残っています。

牛深の「遠見山中番所跡」、「遠見岳見張り番所跡」も市指定史跡となっており、これらは江戸時代に富岡や長崎まで異常を知らせるシステムがあったことを示す貴重な史跡です。

お詫びと訂正

市政だより天草11月号28ページ「文化財探訪」県指定無形民俗文化財 栖本太鼓踊りに関する記事について、指定を受けているのは太鼓踊りのみとご紹介しましたが、神幸行列も指定の範囲でした。

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草市には206もの指定・登録文化財があります。今回は、天草町の史跡をご紹介します！

天草 文化財探訪

☎文化課 ☎32-6784

天草 見どころ図鑑



がしらだけ
頭岳からの眺望
(河浦町)

河浦町今田に山頂を置き、標高466m、新合津留神社入口から8合目までは自動車で登ることができます。山頂の広場では北西方向から南東方向に180°のパノラマが広がっており、遠く雲仙普賢岳、鹿兒島の島々、羊角湾や遙かに天草灘を望むことができます。

★ここに注目

頂上の広場には、妙見菩薩、観世音菩薩が祀られています。